

災害時の身元確認では、歯の状態を含めた頭部の硬組織情報が有効であるが、昨年（神戸）の連合大会で開催した歯科の共同企画では、標準コードがすでに存在する歯式、病名、診療内容などの診療情報を組み合わせるだけでなく、初診時の口腔診査情報の標準化が必要との結論を得た。そこで、今年は口腔診査情報を交換することを視野にいれ、規格のあり方についてパネルディスカッション形式で議論を行う。